

令和4年度 第2回 稲沢市図書館協議会 議事録（要旨）

- 1 日時 令和5年2月14日（火） 午後2時から午後3時30分まで
- 2 場所 稲沢市立中央図書館 研修室
- 3 出席委員 ①長澤辰夫 ②岸美千代 ③窪崎香 ④田中真由美 ⑤水谷節
⑥浅野順子 ⑦服部祐子 ⑧世良清 ⑨伊東啓子 ⑩鵜飼貢
- 4 会議同席者 教育長 広沢憲治
教育部長 荻須正偉
- 5 事務局 館長 塚本ゆかり 主幹 榎本賢二 水野正己
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 (1) 令和4年度図書館事業実績（中間報告）について
(2) 第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について
(3) 令和5年度図書館目標（案）について
(4) その他

【開会】

(教育長)

・・・教育長挨拶・・・

(事務局)

・・・配付資料の確認・・・

(事務局)

本日の会議は、稲沢市図書館協議会設置に関する条例第6条第2項の規定により、定員の過半数の委員の方にご出席をいただいておりますので、ここに成立していることをご報告いたします。

それでは、議事に入ります前に、本協議会の会長からご挨拶をいただきたいと思います。

(会長)

・・・会長挨拶・・・

(事務局)

続きまして議長の選出でございますが、稲沢市図書館協議会設置に関する条例第6条の規定により、会長がその会議の議長となることになっておりますので、会長様、会議のお取り回しをよろしく願いいたします。

【議事】

(議長)

議事に入ります。

始めに、稲沢市図書館協議会運営規則第2条の規定に基づき、本会議の議事録の署名者2名

を私からご指名させていただきます。

・ ・ 議事録署名者指名 ・ ・

協議事項（１）「令和４年度図書館事業実績（中間報告）について」

（事務局）

協議事項（１）令和４年度図書館事業実績（中間報告）について説明（資料「資料１」）。

（委員）

今ご説明いただきました「ベストリーダー」を興味深い資料だと思いますが、具体的には各館によってファイルに挙がってくるものが全く違うのは、年齢層とかの違いによるものでしょうか？書店等の販売のベストとかですと、どこも同じような傾向があるような気がしましたので、一般書にしましても児童書にしましても、館によって重なる本がほとんどないので、何か要因があるのかということに興味を持ちましたので、わかりそうでありましたら教えていただければと思いました。

（事務局）

やはり利用者層が大分違っていたりしますけれども、著者につきましては東野圭吾さんですか、有名な方がランクの上位に入っておりますので、やはり人気のある方は上位にくるとは思うのですが、利用者の年齢層によっても若干違ってくるのではないかと思います。

（議長）

ボランティア活動の方で今年再開という形で色々取り組んでいましたが、何かその辺りできらら会・せせらぎ代表さんは１年を振り返っていかがでしたでしょうか？

（委員）

今年度から月に１回ですが、読み聞かせを再開させていただいたということで、人数的には５名から１５名くらいだったと聞いておりますが、それを待ち望んでいた方もおられますし、読み聞かせボランティアとしての活動が再開したということで、読書に繋がる活動が再開できたということで嬉しく思っております。

（委員）

月に一度発行しております「せせらぎ」という視覚障害者向けのＣＤは、コロナ禍の中でもずっと休むことなく発行しております。それと、ずっと２年間お休みだった「朗読のひととき」ですが、視覚障害者の方を中心に付き添いの方と全体でこの研修室に３０名と言われた気がするのですが、そのため私たちは実際に中に入って他の方の朗読を聞くことができないというような状態で行いました。ただ、視覚障害者の方には喜んでいただけたと思います。来年からはもう少したくさんの方に来ていただけると嬉しいと思います。

協議事項（２）「第３次稲沢市子ども読書活動推進計画について」

（事務局）

協議事項（２）第３次稲沢市子ども読書活動推進計画について説明（資料「資料２」）。

(議長)

もうすぐ卒業式がありますけれども、特に中学校におきましては、今年度卒業する生徒さん達は3年間コロナ禍での学校生活だったかと思うのですが、そういう中で大里東中学校では、1回目の時にご紹介があったカーリルのシステムを導入されて取り組まれるというお話がありましたけれども、もうすぐ1年経ちますが導入されてどのような状況かご紹介いただくとありがたいのですが。

(委員)

本校に来ていただいております司書の方からご紹介いただいて、各学校の図書室にどのような本があるかと蔵書を一目で画面を通して見られるというようなシステムでございます。4月当初にエクセルのところに各本のデータを入れて、それを業者に送ると自動的にそれぞれ自分の学校にどのような本があるかというようなQRコードを示すと、簡単に見ることができるというものです。タブレットも1人1台配付していただいたので、そのQRコードですぐ見られるようにということで貼り付けもしていただいて、必要な図書があれば子ども達がタブレットを通して自分の学校にどのような本があるのか明確にわかるので、非常に良かったと思います。

ただ実際にこれを借りるということになると、図書室に行ってどの場所にあるというところまではわからないものですので、本校にこういう本があるというのを子ども達が知り、必要であれば図書室に入りに行くということをやっています。しかし、中々コロナの方も落ち着かない部分もありまして、朝、子ども達が入ってくると健康観察をしてすぐにその日の予定を確認する等していると、なかなか読書タイムを設けることができません。どのような本があるかを自分の手で見ることはできるのですが、なかなか借りに行くまではいけないところがあり、今後カーリルを基にした、子ども達がより借りやすくなる形を作っていかなければならないと思っています。本校は本を読む生徒が多く、自分で本を買ってきて教室で読んでいるという姿が、私が赴任させていただいた時から非常に良いと思っていたのですが、なかなか朝一斉に読書タイムを設けるということはできなかったものですから、そういった姿が最近見られなくなってきたのかなという感じがします。

来年度ですけれども、日課を見直して、朝、子ども達の健康観察を職員が行い教室に入るところがかなりスムーズになってきて、その日の予定もタブレットを見てすぐにわかることができるようになってきたものですから、10分程なんとか確保できるようにして、読書タイムを復帰させることができるような状況になってきて、来年度以降時間を上手く活用できるようにということと、せっかく導入できたカーリルを上手く活かしながら、もう一度立て直しをしていきたいと思っています。

(委員)

大里東小学校の学校司書補として、失礼します。カーリルのことですが、我が校でもようやく使えるように整えましたので、これから他の学校の司書補さんにも使い勝手が良いことを少しずつ広めていけたら良いと思っています。

(委員)

一つ付け加えますけれども、導入にあたっては、これが安全なソフトかどうかというのを市教育委員会に確認をいただいた上で導入させていただきました。

(議長)

今、朝読の確保をというお話もありましたが、そういう意味では委員の学校では今年度から朝読を復活されたというお話がありましたが、その後一年経とうとしていますがどうですか？

(委員)

それぞれの家庭の事情があるので、色々な児童がいるのですが、学校へ来て片付けをした後、まず座って読書をします。実際、読書できない子もいるのですが、周りの子が静かに本を読んでいる、その雰囲気崩さないように座って落ち着くことができているので、朝は学校全体が静かな雰囲気です。スタートできて良いと思います。時間が保証されているので、落ち着いて読める子は、色々な本を読んでいます。そのためには学級文庫がきちんと充実していないといけないので、市の予算以外のところでも本を買いましたし、たまたまですが寄付をいただいたりとか、あとは図書室の本をそれぞれの子ども達が2冊ずつ、多いクラスだと月2回ぐらい自分たちで2冊選んできて、学級文庫の本棚に置くというような形で行っているのです、そんなに飽きないで色々な本を読むようになってきたかと思います。

(議長)

コロナ禍でも色々努力いただいたわけなのですけれども、これでコロナのほうも落ち着いてきますので、ますます小中学校さんには図書館活動を充実していただけるのではないかなと期待したいと思います。

協議事項(3)「令和5年度図書館目標(案)について」

(事務局)

協議事項(3)令和5年度図書館目標(案)について説明(資料「資料3」)。

(委員)

週刊誌の記事として「今図書館がおもしろい」という大見出しがありました。そこでは、誰でも利用できる公共図書館のシニアの利用が増えている、シニア向けのコーナーやイベントを充実させたり、認知症の疑いのある利用者への対応に取り組み始めたりするところも出てきているということで、他の全国の図書館のレポートが書いてありました。この記事は、今おっしゃっていた目標の第3項目目に高齢者が該当するのではないかと思います、今お薦めいただいた中の一つのテーマとして高齢者向けのコーナーやそういった方々に配慮したものを、受付においては認知症のような人に対して失礼がないように対応するというような、新たな視点を組み込まれたらどうかということです。

それで、館長さんもその辺りは十分ご推察のことと思いますので、今の現状、高齢者に対するサービスとして、具体的に何かお聞かせいただいたらと思います。

(議長)

認知症の方も含めた高齢者利用の件についてだと思えますが、よろしくお願いします。

(事務局)

高齢者の方に対する対応といたしましては、しばらくコロナ禍で座席がとても少なかったものですから、最近中央図書館ではブラウジングソファの数を元に戻しました。理由としましては、元々中央図書館は滞在型の図書館ということで、朝早くから高齢者の方にはお越しいただいて、一日図書館で過ごしていただくという状況でございましたが、何分にもコロナということで人数を減らしたいという方向性がございましたので、かなり座席数を減らして、高齢者の方には座り心地の悪い硬い椅子をご利用いただくような状況でございました。その点では増やさせていただいた結果、先生がおっしゃったような認知症の対応はできておりませんが、気長に一日居眠りをしながら図書館で過ごす方が若干増えたように感じております。

ただ、7月にオープンいたしました電子図書館のほうですが、実際こちらが意図する程高齢者の利用がまだ望めていないのですが、高齢者の方が読むような時代小説とか、いわゆる歴史物のおもしろいコラム等が入った本を入れさせていただいております。これについては、まだこちらの努力が必要かと感じておりますが、参考にさせていただきたいと思っております。

(委員)

高齢者の方とともに、ヤングアダルト、若い青少年の利用も課題だとお聞きしておりますが、本学学生には市内在住の者もおりますし、市外から通っている者もおりますけれども、ただ来年度に向けて、本学学生だけではなく地域の方々と触れ合える何か企画を考えさせていただきたいと思っております。自動的に本が搬送されて、なかなか一般利用者では見られないような貴重どころも見せていただきまして、それがすぐ学生の利用に繋がるかどうかというのはまだ心もとないところですが、是非高齢者の方ももちろんですし、市内の青少年の利用が増えると良いと思っておりますので、また来年度お世話になると思います。ありがとうございました。

(議長)

若い世代の学生さんのアイデアに期待したいと思います。

(委員)

今日お邪魔したら、昨年度の映像を色々流していただきありがとうございました。これをまた図書館のホームページ等でも見られたりするのでしょうか？ソーラーシステムがあるということも先程の映像で知り、図書館を身近に感じられて、若い人達がもっと興味を持って図書館に足を運ぶような気がするのですが、先程の映像は今だけなののでしょうか？

(議長)

早速声を取り上げて活かしていただき感謝しております。せっかくなので、ホームページ上でもというご意見ですが、どうでしょうか？

(事務局)

その辺りのことについては、前向きに検討してまいりたいと思っております。来年度、市のホームページのリニューアルがあると聞いております。今後図書館がどのような形でホームページの展開ができるかはわかりませんが、担当者と話し合い、協議を進めてまいりたいと思っております。

で、ご意見については検討課題とさせていただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

(議長)

ホームページのリニューアルということをおっしゃられたのですが、この後満足度調査のお話が出るかと思えますけれども、その中にもホームページへの希望も何点かあったかと思えますので、是非そういった声をリニューアルに活かしていただきたいと思えます。

(委員)

私は図書館の音訳のボランティアをしているのですが、地元の下津小学校ですずっと読み聞かせをしております。今年度から朝読の時間、1年生から6年生まで先生が予定を入れてくださいます、私たちボランティアで各クラスに入って読み聞かせをしております。また、午後のプラスワンの時間というものがありまして、高学年の下校に低学年を待たせているという時間に、私たちが大型絵本等そういうものを今年度は1学期に1年生から3年生まで1回ずつにして行っております。その時は子ども達が疲れている時間ですので、なるべく楽しいものにしてあげたいと思っております、よく大型絵本を借りるのでありますが、実は稲沢の図書館は1週間しか借りられないのです。同じメンバーで清須の図書館とかは2週間借りられるということで、1週間では自分たちが読みたいと思った本がたまたまその時なかったりしまして、色々練習もしたいので、不便を感じております。是非大型絵本を2週間にさせていただけないかとメンバーから希望が出ておりますので、お願いしたいと思えます。よろしく願いいたします。

(議長)

大型絵本を1週間から2週間へということですね？1週間というのは何か理由があるのですか？

(事務局)

元々大型絵本は冊数がとても限られていまして、要望もやはり多いものですから、2週間でローテーションしますと、かなり使えない方が増えますので、その関係で1週間で回させていただいてと思います。実際、これはあくまで限定的で今水谷委員がおっしゃったように、学校へ持って行かれる時はやはり1週間をお願いをしているのです。それで、こちら図書館主催の事業で使われる時は練習期間も要するというので、ある程度配慮してこちらの方で確保するというようなことはさせていただいております。

今後どのように利用していただくかということを考えるにあたって、実際大型絵本のニーズは高まっていますので、その辺りのところの実情と勘案させていただきたいと思えますので、ご理解いただきたいと思います。

(議長)

色々諸事情があるようですね。

第2項目目の「図書館サービスの充実」のところ「十分な感染防止対策」をしながらということでもありますけれども、今色々利用制限等かけてみえると思うのですが、マスクの着用も

含めてその辺りのところ、どのように考えてみえるのかというのを、今流動的な状況ですのでしっかり固まっではないと思いますけれど、今後を見据えた時にどういった流れになっていきそうなのか、もしここでお答え願えればと思いますが、よろしくをお願いします。

(事務局)

今後の安全の確保ですけれども、現状としては、密になることなく、マスクの着用や手の消毒も引き続き実施します。

(議長)

3月13日から、国の方ではマスク着用は個人判断ということですが、早速来月に迫っていますけれども、その部分は今のようにマスク着用で、ということになっていくのですか？そのような案内を継続して出されていくということですか？

(事務局)

案内も、そのような形で続けていきたいと思います。

(事務局)

少々補足をさせていただきたいと思います。3月13日に一応その辺りのところは個人に問われるということですから、近々に3月の節目が終わってから春休みに祖父江の森図書館で映画会が開催される予定になっております。その際に、祖父江の森図書館の方から今後のことについてどうしようかという相談を実際に受けておまして、結論は出ておりませんが、まず3月13日にどういう形で示されるのかということをございですが、対象がかなり小さいお子さんとお母さんになります。そして会場が視聴覚室ということで、その辺りの状況、中に入る人数の状況も考えまして、内容が楽しい作品なので、多分大きな声を出したらいだろうということが想定されますので、あくまで結論は出ておりませんが、推奨でいくのが相当であろうかという話をしていたところでございました。ただ、きちんと対応については、今主幹の申した通り安全第一ということ念頭に置いてまいりたいと思いますけれども、社会情勢のほうも考えながら決めてまいりたいと思いますので、ご理解いただきますようよろしくお願いたします。

(議長)

またホームページ等でそういった点も考慮されていくということになるかと思いますが、よろしくお願いたします。

(委員)

「その他」の話になりますけれども、2022年9月29日の中日新聞に、文部省が図書館の選書に口出すという見出しがあったので、気になって切り抜いたのですが、「文部科学省が8月、北朝鮮拉致問題に関する図書館の蔵書を充実させるよう協力を依頼する事務連絡を各都道府県の教育委員会等に宛てて出したことがわかった。文部省は、特定のテーマの本の充実を図書館に求めるのは異例だ」という記事がありましたが、これは県に発送されたもので、各市町村には発送されていなかったのでしょうか？

(事務局)

その件に関しましては、実際そういう依頼文書が来ております。ただし、その後すぐに図書館の自由宣言に対して、それは行ってはいけないことであるということで、各協会及び県図書館を始めとした図書館業界から反発を受けておりまして、ほぼ有名無実化したと理解しております。

(委員)

今、この図書館としては、特にその辺りの図書館を気にして対応したとか、そういうこともなかったということですか？

(事務局)

そういうことに対しての対応はいたしておりません。図書館を集めているとか、そういうことはしておりません。

協議事項(4)「その他について」

(事務局)

協議事項(4) その他について説明(資料「令和4年度 稲沢市図書館利用者満足度調査結果報告書」)。

(委員)

毎年、この満足度調査の報告書はすごく細かくまとめられていると思います。そしてまた、今ご説明していただいたように、結果に対する分析もすごく細かくされていて、なるほどと思ってみせていただいておりますけれども、例えば市民の声から実施に至ったようなものがあれば教えていただきたいのですけれどもいかがですか？

(事務局)

最近ではないのですけれども、閉館時間が早いとほかの図書館に比べて開館時間が短いというようなご意見がございましたので、そういったご意見を基に、中央図書館については平和・祖父江よりも1時間長く開館しております。また、平和町図書館の方で洋式トイレがないというようなご意見もございましたので、そういったことで一つ作ったということもございません。

(委員)

あの満足度調査が活かしているということになりますよね？それはとても良いことだと思います。今回、自由記述のところを読ませていただいて、本当に端的に職員の方が良かった等と書いてあるのがランダムにあるので、できればこれを分類していただいて簡単に割り振ってアンケートを記入していけば、後で並び直せると思うので、そういったアンケートの自由記述のまとめというのは可能でしょうか？

(事務局)

やはり見やすくなった方が良いと思いますので検討させていただきます。実際のところ、紙で書いていただいたものを各図書館で配って運営をしてはいるのですけれども、これを見ただくとわかると思いますがかなり大変な作業ですので、そこを何らかの分類をつけて入力で

きるように判断をつけるのは難しいところもあるかとは思いますが、検討は必要かとは思いますが、やれる方向で進めていけたらと思っております。

(委員)

確かにそれぞれの図書館でこれを手分けして行っていらっしゃると、その人の基準でどこに入れようかというところが迷うことがあるかと思っておりますけれども、とにかく、すごくたくさん書いてあってもっと読みたいと思って見るのですけれども、あまりにも乱雑すぎて、私としても見にくいのでできないかと思って聞いたのですけれども、決して無理のないように、今でも十分やっていただいていると思うのですけれども、できればということで意見を出させていただきました。

(議長)

本当にこれをまとめ上げるのは大変な作業だったかと思っております。私は本当に図書館の方に一生懸命にやっていただいているというお声があるのが残念だと思ったのが、一般の39番の方のお声なのですが、この方は本の除菌をする装置の件で、どうも何年もこのことを訴え続けてみえているようです。

実はこの方の書いていらっしゃる件というのは、令和2年度の最後の協議会の時に委員さんの方からお声があって、それに対して事務局の方でお答えになってみえるのですけれども、そのお答えというのがビニールコーティングしたカバーを本に貼る、本についてはアルコールで拭き取った後24時間隔離しておくとか、それから殺菌時については日本図書館協会の資料保存委員会の方式に従って、大腸菌には効果があるけれども、コロナについてはそこまでの効果はまだ認められていないということや、それを踏まえて取り入れていないということや協議会でお答えしてみえるのですけれども、そういったことをどこかで何か広報等の形でお知らせがあれば、この方も何年も訴え続けることもなかったかと思っております。

せっかく図書館の方でご助力いただいていることが上手く利用者さんに理解されていない、齟齬があるというのは大変もったいないことだと思っておりますけれども、その辺りのここに挙げてきたお声をどうするかということも、今後検討していただくと良いのではないかと思います。図書館によってはこういう殺菌の装置等を置いているところもあるものですから、その辺りは図書館の最終的な判断になっているのかなと思っております。

(委員)

リアルな意見がこうやって資料になっているのは素晴らしいと思っております。これを全部入力されたということに驚いているのですが、もし今後可能であれば確認等のソフトを使いますと、キーワードがきれいに洗い出されて傾向分析ができますので操作上良いかという気がしました。

それから1点だけ質問があるのですが、2ページの1番の下から4・5行目のところで、回答数ですが中央が313であるのに対して祖父江が445と、むしろ本館よりも多いです。これは、途中の集計表の一般・小学生でも同じことが言えるようです。ちなみに、本日いただいた資料1の方の利用者数を見ますと、中央が冊数ベースで49万、対して祖父江は10万ですから、利用者数は祖父江の方が多いのがわかると思うのですけれども、このアンケート調査の回答

数について祖父江の方が格段に中央よりも多いのは、おそらく頑張って調査されたのだろうとは思いますが、その辺りの館内の分析上の興味・関心から、何かそういったことの背景がありましたら教えていただきたいと思います。

(事務局)

集計結果を見たところ、こちらもちよっと驚いたのですが、やはり中央が昨年度よりも大分減っておりまして、昨年度は中央の方がかなり多くて祖父江の方は少なかったのですが、今年度はちよっと逆転しております。

やはりやり方一つかと思うのですが、窓口でアンケートの協力をお願いしますとの声かけはしていただいているのですが、そのところを中央の方では徹底できなかったのかなというところがございまして、祖父江の方は徹底してやっていただいた結果がこうなったのではないかと思います。来年度までに、実施する時に実際窓口にはTRCの方に行っていていただきますので、そこでの声かけを徹底していただくようお願いしたいと思います。

(委員)

この冊子の満足度調査の一般の185番の意見が気になったのですが、「小さいお子さんと一緒にいらっしゃって本を選びたいのだけれども、本の中身まで見て選ぶことができなくて家に帰って中を見ると、内容が子どもには早かった」と書いていらして、確かに子育て中でお子さんといらしたら騒いだりするのにも気になるだろうし、本を出したりするのも気になって本が選べないのはとてもわかります。他の利用者さんからも低学年の子どもが読む本を探しにくい、児童書タイプの本が作者別に並んでいるところだと、その子どもが本当に読めるような内容かどうかというのが判別しづらいということを直接聞くことができました。

そこで何か手立てのようなものがないかと思い、この前安城図書館に行った時の例なのですが、基本図書と言われるようなものが0歳児とか3・4・5歳児とか、あと小学校1・2年生、3・4年生、5・6年生までで大体18冊ぐらい並んでいて、基本図書だけなのですが、何か冊子やパンフレットのようなものだったり、ホームページ上のPDFのようなものだったり等お薦めのテーマ本を並べてくださっています。そこでも棚のところに「何歳から」という表示とかお便りもせっかく出しているから、これが大体何歳ぐらいからということを入れていただくと、時間がなくて選べない方や、本についてあまり詳しくないが子どもに読ませたいという方等に役に立つのではないかと考えたので提案させていただきました。

(議長)

委員から本当に良いアドバイスがあったかと思しますので、できるだけ活かしていただけると嬉しいですのでよろしく願いいたします。

【閉会】

(教育部長)

・ ・ 教育部長挨拶 ・ ・

(以上)